



平経第 256 号
平成 19 年 5 月 8 日

国土交通省道路局長 殿

平群町長 岩 崎 万 勉



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成 19 年 4 月 2 日付、国道企第 114 号において依頼のあったこのことについて、下記のとおり回答します。

記

平群町は、平成 15 年に策定した第 4 次総合計画に基づき、「安全で緑豊かなふるさと平群」をキャッチフレーズに、部門別計画として

- ① みんなで暮す、いきいきふるさとづくり
- ② 人と自然にやさしい、いぶきさわやかなふるさとづくり
- ③ 花いっぱい、ふれあいのふるさとづくり
- ④ 心豊かな、文化の薫るふるさとづくり
- ⑤ みんなで考え、みんなで歩むふるさとづくり

の 5 つの目標を掲げ、地域住民に住んで良かったと感じていただける、バランスのとれたまちづくりに向け施策展開しているところである。

町のこうした将来像やそのための目標を達成していくための中核となるのが道路整備であり、環境に優しい道路整備による、ひと・物のスムーズな流通環境のなかから、多様化・高度化する住民生活に満足いただける環境・健康・福祉・医療・教育の充実、ひいては、住民の定住促進や地域の発展があるものと考えている。

本町の道路整備の現状は、町内を南北に縦断する国道 168 号線とそのバイパスに依存しているといっても過言でない状況であり、道路交通の現状

では、この主要道路についても、県道椿井・王寺線と接続する椿井交差点が未改良であり、渋滞が慢性化している状況である。

また、東西方向の主要幹線道路が町内になく、町外の国道等に依存せざるをえないため、町内外の交通は大きな迂回を余儀なくし、住民に大きな不便を感じさせている。

こうした状況を打開していく為、平群町では、まちづくりの基本方針となる都市計画マスタープランの策定をすすめているところであり、道路整備計画においては、とりわけ次の点を、優先度の高い重点的な具体的主要課題とし、中期的な整備を進めようと計画している。

《平群町の重点的整備課題》

- ① 東西へのアクセス強化のため、郡山方面と直接連絡する（仮称）東西線の整備促進
- ② 渋滞の慢性化を解消するため、国道168号線椿井交差点の改良促進
- ③ 中心市街地へのアクセス強化を図るため、都市計画道路・平群駅前線の整備促進
- ④ 周辺の里山・田園環境に配慮した、県道平群・信貴山線の改良促進
- ⑤ 県道椿井・王寺線の改良促進

《中期的計画に対する意見》

・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

奈良県の道路整備状況は全国最低レベルであるということを踏まえ、とりわけ、以下の点について重点的に進めていただきたい。

- ①国道25号線（特に郡山～王寺区間）の渋滞緩和対策（右折帯の整備等）
- ②京奈和自動車道（御所区間、五条道路）の早期完成

・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ① 入札契約の適正化など事業の透明性を確保し、コストを減らす努力をする
- ② 事業の必要性を再検証し、整備効果についても国民の理解が得られるよう情報公開する
- ③ 工期を短縮することにより、他の交通への障害を短期間でなくすよう努力する

・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

①既存橋梁の老朽化が目立っている状況であり、今後改修の時期にさしかかってきている。「長寿命化修繕計画」が策定されたが、これでも各自治体は大きな財政負担が必要であり、財源を圧迫する要因になると思われる。今後、さらなる財政的支援をお願いしたい。